

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	淡路市立一宮中学校 教諭 谷 健年	研究グループ名： (淡路市フロンティアプロジェクト)
-----------------	----------------------	---------------------------------

研究テーマ分類番号 (2)

(1)研究テーマ	
子どもの学びを広げ、深める授業の創造 ~ 誰でも簡単に使える ICT ~	
(2)研究経過及び具体的な取組	
7月2日	実施場所：淡路市立一宮中学校 研究成果：研究グループ5人でApple社製タブレット端末iPad(以下iPadとする)を用いた授業の改善について活動を開始。年間計画を決定。
7月25日	実施場所：淡路市立一宮中学校 内 容：iPadの基本的操作法の指導方法を研究 課 題：どんなiPadアプリを用いて、どのような授業活用できるかを研究する。(アプリ：Evernote,Dropbox,7notes,Note Anytime, Keynote, その他)
8月6日	実施場所：淡路市立一宮中学校 内 容：iPadの教室での提示方法の研究1 iPadと電子黒板もしくはプロジェクタと接続し、実際に授業で提示用教材として利用し、児童生徒に対する視聴覚的・心理的効果・教育的効果を確認する。 成 果：AppleTV(Apple社製品)を用いることでiPadの画面や保存したファイル・画像・動画などを、無線にて転送し提示することができる。これを利用することで、教室中を歩いている機間巡視が可能となり、生徒のノートや作品を瞬時に学級で共有することが可能となる。 課 題：Wifi環境が必要になる。
9月18日	実施場所：淡路市立一宮中学校 内 容：教室でのWifi環境を利用したインターネット活用の実際について 成 果：調べ学習等に取り組む際に、非常に有用である。また、授業中に出てくる突発的な質問にも即座に返答が可能となり、タイムリーな指導が出来る。
11月19日	実施場所：淡路市立一宮中学校 内 容：授業でのICT有効活用法について研究 成果と課題：授業設計の段階においてICTをメインに据えてしまいがちであるが、そうではなく、「授業のねらい」に迫る上で、ICT機器を効果的に活用できるかを考えることが大切である。例えば、あくまでもICTはふりかけであって、メインディッシュは「授業のねらい」であるということを確認した。また、10月に発売されたiPad mini(7.9インチ)は小学校低学年児童にとって、可搬性や運用上のメリットが高いと思われるので、今後の検証事項とした。